

# さんようおのだ 議会だより

議会基本条例(素案)  
について皆さまのご意見  
をお聞かせください

<募集期間>  
1月4日(水)～1月31日(火)



# 開かれた議会をめざして…「議会

## 「わかりやすい議会」「透明性のある議会」など 議会のあるべき姿や仕組みを定めた条例です

山陽小野田市議会では、平成21年12月に議会基本条例制定特別委員会を立ち上げ、合計40回を超える委員会を開催し、自由かつ達な議論の中、慎重審議を重ねてきました。

そしてこの度、山陽小野田市議会基本条例の素案が決定しました。



議会基本条例で  
どう変わるの？

条例ができると…例えば、このように変わります。

### 1 議会報告会を開催します

議会の「説明責任」を果たすため、地域に出かけて行き、議会の報告をし、市民の皆さまの声を聞きます。

### 2 市民懇談会を開催します

10人程度の市民グループからの申し込みを受けて議会が出向き、テーマに沿って意見や情報を交換します。

### 3 議員間で自由討議を行います

議案の審査において、執行部に対する質問にとどまらず、議員相互間で自由かつ達な議論をしっかりと行います。

### 4 政策討論会を開催します

市政に関する重要な課題について共通認識し、政策提言するため、全議員での政策討論会を開催します。

### 5 積極的に情報を公開します

委員会記録や視察報告書、議長交際費、政務調査費、議会スケジュールなどホームページに公開します。

### 6 賛否を公開します

議員の政治責任を明らかにするため、議案に対する議員個人の賛否を議会だよりやホームページで公開します。

# 基本条例」で議会が変わります！

## 議会基本条例(素案)について 皆さまのご意見をお聞かせください

< 募集期間 >

1月4日(水)

～1月31日(火)

議会基本条例の素案について、市民の皆さまの率直なご意見をお寄せください。閲覧場所では、条例案と条例の解説をご覧いただけます。

なお、パブリックコメント期間中に各中学校校区において議会基本条例説明会を開催する予定にしておりますので、ぜひ参加していただき、多くのご意見をお聞かせください。

(日時、会場は8ページに掲載)

### ●意見を提出できる人

市内に住所がある人、市内に事務所または事業所を有する個人・法人・団体、市内の事務所または事業所に勤務する人、市内の学校に通学する人

### ●募集期間

1月4日(水)～1月31日(火)

### ●閲覧場所

議会事務局、山陽総合事務所、南支所、埴生支所、公園通出張所、厚陽出張所

※ホームページにも掲載しています。

### ●意見の提出方法

郵送、FAX、持参、E-mailまたは市ホームページから電子申請システムで提出してください。(口頭および電話での受付はしません。)また、書面の様式は任意としますが、住所、氏名(ふりがな)または法人等の名称、代表者氏名、事務所の所在地および電話番号を明記してください。(住所・氏名が公表されることはありません。)

### ●意見等の公表

いただいた意見等については、内容を検討し、議会としての考え方を示したうえで公表します。ただし、賛否のみを記した意見、該当条例案に内容が合致しない意見、住所・氏名等を記していない意見などは、公表しないものとします。なお、類似の意見は、まとめて公表することがあります。また、提出された意見等に対する個別の回答はしません。

### ●問い合わせ・意見の提出先

〒756-8601

山陽小野田市日の出一丁目1番1号

山陽小野田市役所 議会事務局

(☎82-1182 FAX 82-1186)

shigikai@city.sanyo-onoda.lg.jp



# ◎山陽小野田市議会基本条例(素案)

## 前文

地方分権の推進により、地方のことは地方で決定し、自らの責任で行政運営ができる時代となり議会の果たすべき役割も大きくなってきました。

そのような時代にあって、市民による厳粛な信託によって選ばれた市長と議会が、それぞれの特性を生かして、牽制や協調を重ねていくという二元代表制の下、市民福祉の増進と市勢の発展を目指すために、共に考え、汗を流す必要があります。

議会は、市の唯一の議事機関として、行政運営に対して評価・監視機能を十分に発揮するとともに政策立案機能を強化しなければなりません。さらに今後は、まちづくりの主体である市民の多様な意見を的確に市政に反映させるため、透明性のある議会、開かれた議会を実現し、市民から信頼される議会になることが求められています。

また、議員は市民の代表者であることを自覚し、崇高な政治倫理の下、お互いに研さんに努め市民の負託に応えなければなりません。

これらのことを実現するために、山陽小野田市議会は、議会、議員の活動原則並びに議会と市民及び市長等との関係など基本的な事項を定めた議会の最も尊重すべき規範である山陽小野田市議会基本条例を制定します。

## 第1章 総則

### (目的)

第1条 この条例は、議会の基本的事項を定め、議会及び議員の役割を明確にし、その責任を果たすことにより真の地方自治を実現し、市民の幸せと豊かなまちづくりに寄与することを目的とします。

## 第2章 議会及び議員の活動原則

### (議会の活動原則)

第2条 議会は、次に掲げる原則に基づき活動します。

- (1) 公正性及び透明性を確保し、市民に開かれた議会を目指すこと。
- (2) 市民の多様な意見を把握し、市政に反映できるように、市民参加の機会の拡充に努めること。
- (3) 把握した市民の多様な意見をもとに政策立案、政策提言等の強化に努めること。
- (4) 市民本位の立場から、適正な市政運営が行われているかを監視し、評価することにより信頼される議会を目指すこと。
- (5) 議会運営は、市民の関心が高まるよう、分かりやすい視点、方法等で行うこと。

### (議員の活動原則)

第3条 議員は、市民の代表者であることを自覚し、次に掲げる原則に基づき活動します。

- (1) 議会が言論の府であること及び二元代表制の一翼を担う合議制機関であることを十分認識し、積極的な議論をすること。
- (2) 市政の課題全般について、市民の意見を的確に把握するとともに、自己の能力を高める不断の研さんによって、市民の代表としてふさわしい活動をすること。
- (3) 議会の構成員として、一部団体及び地域の代表にとらわれず、市民全体の福祉の向上を目指して活動すること。

### (会派)

第4条 議員は、会派を結成することができます。

- 2 会派は、政策を中心とした同一の理念を共有する議員で結成するものであって、政策立案及び政策提言に資するための調査研究に努めなければなりません。

### (会議の公開)

第5条 議会は、本会議のほか委員会等を原則公開とします。

**(自由討議の保障)**

第6条 議会は、言論の府であることを十分に認識し、議員相互間の自由討議を中心に運営します。

2 議会は、本会議及び委員会において、議員、委員会及び市長からの提出議案並びに直接請求による議案、請願及び陳情に関して審議し、結論を出す場合、議員相互間の論議を尽くして合意形成に努めます。

**(議決事件の追加)**

第7条 議会は、議事機関としての機能強化のため、地方自治法第96条第2項の規定に基づき議会の議決事件を積極的に追加します。

2 前項の規定に基づく議会の議決すべき事件については、別に条例で定めます。

**(議案及び関連資料の公開)**

第8条 議会は、市民に対し情報を公開することを積極的に進めるため、本会議のほか委員会等で用いた議案及びその関連資料は、積極的に公開します。

**(政策討論会の開催)**

第9条 議会は、市政に関する重要な政策又は課題に対して、共通認識及び合意形成を図り、もって政策立案及び政策提言を推進するため、政策討論会を開催します。

2 政策討論会に関することは、別に定めます。

**(行政運営の検証)**

第10条 議会は、決算審査に当たって、市長その他執行機関(以下「市長等」といいます。)が執行した事業等の評価(以下「議会の評価」といいます。)を行います。

2 議会は、予算に十分反映させるため、議会の評価を市長に明確に示します。

3 市長は、議会の評価を予算に十分反映させるよう努めなければなりません。

**第3章 本会議における基本原則****(一般質問)**

第11条 議員は、一般質問を行う権利を有します。

2 一般質問は、行財政全般にわたって、市長等に疑義をただし、所信の表明を求めるのみならず、政治姿勢を明らかにし、それに対する政治責任を明確にさせることを目的とするものにしなければなりません。

3 一般質問における論点と回答は、これを公開します。

**(反問権)**

第12条 本会議又は委員会に出席した市長等は、議員から質問を受けたときは、その論点を明らかにするため、議長又は当該委員会の委員長の許可を得て、当該議員に対し反問することができるものとします。

**(質疑)**

第13条 議案等に対する質疑は、疑義を解明するために行い、その内容についてはあくまで総括大綱的なものととめます。

第14条 委員長報告に対する質疑は、委員長に対し疑義をただすために行います。

2 修正案が提出された場合は、執行上の問題について、市長等に対し質疑をすることができます。

3 委員長が市長等の答弁を誤って述べた場合は、市長等からの訂正を求める発言を認めるものとします。

**(委員長報告)**

第15条 委員長報告は、委員外の議員が意思決定するときの判断材料として必要な情報を提供するため、そして審査状況を市民に知らせるために審査の概要と結果及びその論点を明らかにし、詳細に要領よく行います。

2 委員長報告概要は、議場に配布します。

**(賛否の公開)**

第16条 議案等における賛否は、これを公開します。

**第4章 委員会における基本原則****(委員会の運営)**

第17条 委員会は、議案等の審査のみならず、様々な市政の課題に迅速かつ的確に対応する

ため、その所管に関する事務の調査を機動的に実施するとともに、委員会の専門性と特性を生かし、その機能を十分発揮するよう運営します。

#### (審議における論点情報の形成)

第18条 委員会は、提案される重要な政策、施策、計画等（以下「政策等」といいます。）について、議会審議における論点に係る情報を形成し、議論の水準を高めるとともに、議決責任を担保するため、提案者に対し、次の各号に掲げる事項について明らかにするよう求めます。

- (1) 政策等の提案に至った経緯、理由及び期待される効果
- (2) 他の自治体の類似する政策等との比較検討
- (3) 提案に至る過程における市民参加の実施の有無とその内容
- (4) 総合計画との整合性
- (5) 関係法令及び条例等
- (6) 財源措置及び将来にわたるコスト計算

### 第5章 市民と共に行動する議会

#### (市民懇談会の実施)

第19条 議会は、市民と議員が自由に意見や情報を交換するために市民懇談会を実施します。

2 市民懇談会に関することは、別に定めます。

#### (請願者及び陳情者の意見陳述)

第20条 議会は、請願及び陳情を市民による政策提案と位置づけるとともに、その審議においては、これら提案者の意見を聴く機会を設けなければなりません。

#### (公聴会及び参考人制度の活用)

第21条 議会は、常任委員会、議会運営委員会及び特別委員会における参考人制度及び公聴会制度を活用して、市民の専門的又は政策的な識見等を議会の討議に反映させます。

#### (附属機関の設置)

第22条 議会は、審査、諮問又は調査のため

必要があると認めるときは、別に条例で定めるところにより、附属機関を設置することができます。

#### (意見箱の設置)

第23条 議会は、広く市民の声を聴くために意見箱を設置します。

### 第6章 説明責任を果たす議会

#### (議会報告会の実施)

第24条 議会は、市民に対する説明責任を果たすため、議会で行われた審議内容等を説明する議会報告会を行います。

2 議会報告会に関することは、別に定めます。

#### (市議会出前講座の実施)

第25条 議会は、市民からの要請に応じてその有する情報を提供するため、市議会出前講座を行います。

2 出前講座に関することは、別に定めます。

#### (情報の公開)

第26条 議会及び議員は、市民への情報提供等を図るため次の各号に掲げる事項について公開します。

- (1) 本会議会議録
- (2) 委員会記録
- (3) 委員会報告書
- (4) 視察報告書
- (5) 議長交際費
- (6) 政務調査費
- (7) 議会スケジュール
- (8) その他議長が必要と認めたもの

#### (議会広報の充実)

第27条 議会は、議案に対する各議員の対応を議会広報で公表する等、分かりやすく情報を提供します。

2 議会は、情報技術の発達を踏まえた多様な広報手段を活用することにより、多くの市民が議会と市政に関心を持つよう議会広報活動に努めます。

## 第7章 議員の政治倫理及び身分、待遇等 (政治倫理)

第28条 議員は、市民の代表者として、その倫理性を常に自覚し、品位を保持し、識見を養うよう努めなければなりません。

2 議員の政治倫理の規範については、条例で別に定めます。

### (議員定数)

第29条 委員会又は議員が議員定数の条例改正を提案する場合は、行財政改革の視点だけでなく、市政の現状と課題、将来の予測と展望を考慮の上、専門的知見並びに参考人制度及び公聴会制度を十分に活用し、明確な改正理由を付すものとします。

2 議員定数の基準は、人口、面積、財政力及び市の事業課題を考慮し検討するものとします。

### (議員報酬)

第30条 委員会又は議員が議員報酬の条例改正を提案する場合は、専門的知見並びに参考人制度及び公聴会制度などを十分に活用し、明確な改正理由を付すものとします。

### (政務調査費)

第31条 委員会又は議員が政務調査費の条例改正を提案する場合は、専門的知見並びに参考人制度及び公聴会制度を十分に活用し、明確な改正理由を付すものとします。

2 会派の代表者及び会派に属さない議員は、山陽小野田市議会政務調査費の交付に関する条例(平成17年山陽小野田市条例第13号)第2条の規定により調査研究に資するために政務調査費の交付を受けたときは、会計帳簿、領収書等を整理し、その用途の透明性を確保します。

## 第8章 議会事務局等の体制整備 (議会事務局)

第32条 議長は、議会の政策形成及び立案を補助する組織として、議会事務局の調査及び法務機能の充実強化を図らなければなりません。

### (議会図書室)

第33条 議長は、議会の調査研究に資するために設置する議会図書室を適正に管理し、運営するとともに、その図書、資料等の充実に努め、市民もこれを利用できます。

## 第9章 他の条例等との関係及び見直し手続 (他の条例等との関係)

第34条 この条例は、市議会の基本となる事項を定める条例であり、市議会に関する他の条例等を制定し、又は改廃するときは、この条例の趣旨を十分に尊重しなければなりません。

### (条例の見直し等)

第35条 議会は、この条例の目的が達成されているか否かを、議会運営委員会において2年ごとに検証します。

2 前項の検証の結果、必要と認める場合は、この条例の改正を含め適切な措置を速やかに講じます。

3 議会は、一般選挙を経た任期開始後速やかに、この条例の研修を行います。

## 第10章 補則 (委任)

第36条 この条例の施行に関し必要な事項は、別に定めます。

### 附 則

この条例は、平成 年 月 日から施行する。

# 議会基本条例

## 説明会を開催します

- 1月23日(月) 商工センター 2階大会議室
- 1月24日(火) 埴生公民館 2階大講堂
- 1月25日(水) 厚陽公民館 2階講堂
- 1月26日(木) 保健センター 2階集団指導室
- 1月27日(金) 赤崎公民館 1階第1研修室
- 1月28日(土) 高千帆福社会館 2階第1・2会議室

※時間は各会場とも午後6時30分からです。  
多くの方の参加をお待ちしています。



### 編集室より

10月臨時会において広報広聴委員会が特別委員会となり、委員構成も変わりました。

さらにパワーアップして、議会の広報広聴活動に努めてまいります。

#### ◎広報広聴委員会

委員長	河野 朋子	副委員長	下瀬 俊夫
委員	石田 清廉	委員	伊藤 武
委員	硯谷 篤史	委員	高松 秀樹
委員	平原 廉清	委員	山田 伸幸



《表紙の説明》 10月30日に行われた市民まつりでは、議会も参加して“バザー”と“議会についての市民アンケート”をしました。ハチマキ姿の「寝太郎くん」も一緒になって、議会改革に向けて制定が待たれる「議会基本条例」をアピールしました。